かるまい議会だより

No.208
平成29年1月25日

主な内容

☞ 特集〔議会この2年間を検証〕
注目は交流駅と太陽光発電 2
☞ 12月定例会 一般質問に5人登壇 8
☞ 臨時会 台風被害で6億7千万円補正 14
☞ インタビュー「かるまい町に住んでみて」 16

サンタが届ける笑顔

サンタさんが図書館クリスマス会にやってきた。絵本の読み聞かせを楽しんだ後、リンリンリンと鈴の音とともに現れると、会場は子どもたちの笑顔と大歓声に包まれていました。

（平成28年12月17日；軽米中央公民館）

検証①

平成27年度からの一般質問

住民の代表として 町政監視と政策立案機能を発揮

町民の付託に応えるべく この2年間で延べ41議員が93の質問

町議会は町民の代表として、町政の監視と政策を立案する役割があります。平成27年5月の改選以来、議員は、それぞれ町民の付託に応えるために一般質問での政策提言等を行ってきました。28年12月定例会まで7回の定例会で、延べ41人の議員が93項目にわたり町当局との議論に汗を流しました。今回は、その内容を検証します。

関心は交流駅と再エネ

一般質問は、議員が行財政全般にわたって、町長に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。

これまで一般質問では、「かるまい交流駅（仮称）」（以下、「交流駅」）についての質問を5議員が延べ9回、次いで再生可能エネルギーの太陽光発電事業関係について4議員が延べ8回取り上げ、課題解決に努めました。

交流駅、太陽光発電事業ともに山本町政の重要施策であり、町民の関心も高いです。議会でも毎回話題にしながら町長の見解を問うてきましたが、町民の方々の理解が深められたでしょうか。

ほかに、子育て支援やいちい荘建設、町総合戦略などが議論されました。（上記参照）

政治姿勢を明らかに

一般質問は定例会ごとに行われます。議員は、招集日の概ね1週間前までに議長あてに項目を通告。議長は、質問要旨を事前に町長に通知します。

質問は、現状や課題を問うだけではありません。答弁への再質問は2回までできます。その中で町長の政治姿勢を明確にしたり、現行政策の見直しや新規政策を採用させるなどの目的、効果もあります。

町民の皆さんもこうした視点で議会に関心を持ち、傍聴されてはどうでしょうか。

平成28年8月に農山漁村再生可能エネルギー法の認定事業では町内初となる発電事業を開始した軽米・西山太陽光発電所（小軽米地区）

項目別にみた質問者の数と質問回数

質問者の数		質問の回数
5人	かるまい交流駅	9回
4人	再生可能エネルギー（太陽光発電事業）	8回
2人	子ども公園（遊び場）整備	5回
2人	子育て支援環境（保育園施設等）	4回
3人	町道の整備・除雪体制等	4回
4人	町長のまちづくり	4回
3人	広報活動	4回
3人	人口ビジョン・総合戦略	4回
2人	いちい荘建設	3回
3人	行政改革	3回
2人	体育施設の改修	3回

※数字はすべて延べ数
※質問通告の後、取り下げしたものを含む
※項目は、実際の質問内容により分類しているため通告項目・数と異なる

ぎかいの視点

交流駅構想はいつ明らかに？

☞ 町民への情報公開を期待

山本町長4期目の折返しを迎え、「かるまい交流駅構想」がなかなか明らかにならない現状です。9月定例会では、建設検討委員会（諮問機関ではない）を設置すると答弁。未だ、委員の委嘱、先進地視察だけの中、果たしていつになったら建設計画、予定地が公表されるのでしょうか。多くの皆さんが知りたいと思っていると思います。構想の目的を早く明らかにし、リーダーシップを発揮いただくことを期待しています。

また、老朽施設問題は山積みです。いちい荘や火葬場など、ハード面の財政年次計画を早急に作成し、町民への情報公開を期待します。

検証②

追跡

あの「検討します」は…どうなった？①

議員の質問に対して「検討する」などと回答したものが、その後どのように対応し、どうなっているのかを追跡し、検証するコーナーです。

問 観光誘客に二戸広域で取り組んではどうか

答 まずは町でできることをまとめ、県北や県全体での広域的な取り組みを模索・検討したい

平成28年9月定例会
27年度決算等審査特別委員会からPick up!

その後は…

広域で体験型観光をメニュー化、連携し誘客

雑穀料理体験など地域の特性を生かした広域的取り組みが期待されます（写真は、平成28年3月開催の「食から健康セミナー」雑穀料理の試食風景）

岩手県と二戸管内4市町村、管内関係団体等で二戸地域広域商工観光推進協議会（会長・岩手県二戸地域振興センター所長）を組織し、体験型観光を柱とした誘致活動に取り組むこととしている。当町では、「雑穀料理体験」「味噌造り体験」など4事業を登録。全体では28事業が登録され、県・市町村が連携した取り組みを展開していく。

聞いてみました まちの声
おらにも言わせて!!

事なかれ式の質疑

橋場 繁義（しげよし） さん（岩崎、84歳）

議会での質疑を聴いていると「事なかれ式」でしかなく、議論の応酬にはほど遠いように感じています。

中高生にも傍聴してもらい、若い世代の政治への関心が高まることを期待したい。

議員には常に現場を確認し、視察後は地元にあった発想の転換でまちづくりの提言に努めてほしいです。

12月定例会で決まった主なこと

人権擁護委員の推薦

適任と答申

人権擁護委員の推薦に関し意見を求めることについて、適任と答申することに決定しました。（敬称略）

〔人権擁護委員〕
＊氏名…村上重雄
＊行政区…向川原
＊新任

軽米町自然のめぐみ基金条例を制定

再エネ発電事業者の寄付を農林業に活用

農山漁村再生可能エネルギー法に基づいて町内で再生可能エネルギー発電を行う事業者からの寄付金を農林業施策及び地域活性化に充てる「軽米町自然のめぐみ基金条例」を新たに設けました。

事業者ごとに売電収入等に応じて毎年一定額を寄付する協定を締結。売電事業期間が寄付の対象となります。

寄付金は基金として管理され、主に農林業振興事業など地域づくりに充てられます。

売電収入の一部がまちづくりに活用されます

期末・勤勉手当を改定

特別職（議会議員含む）の平成28年12月期末手当と、一般職の12月期勤勉手当をそれぞれ0・15カ月分引き上げました。また一般行政職等の給料表も4月に遡及し改定（月額400円から1500円を増額）しました。

平成28年度一般会計予算を増額

総額73億8901万円に

❀❀❀ 主な補正予算の内容 ❀❀❀

一般会計補正予算（第5号）

【歳入】
・臨時福祉給付金給付事業費補助金（国庫補助金3961万円）
・被災農業者緊急支援事業費補助金（県補助金99万円）
・農林業、公共土木災害復旧事業債（町債1億4660万円）

【歳出】
・臨時福祉給付金支給事業関係（社会福祉費3961万円）
・浄化槽設置整備事業費補助金（保健衛生費117万円）
・軽米町自然のめぐみ基金元本積立（農業費9万円）
・B＆G海洋センター外灯修繕料（保健体育費96万円）

平成28年度会計別歳入歳出予算（12月15日現在）

会計別		予算額	
		今回補正額	予算総額
一般会計		3128万円	73億8901万円
特別会計	国民健康保険	2175万円	15億7221万円
	後期高齢者	259万円	8939万円
	介護保険	22万円	7854万円
	下水道事業	△60万円	1億6770万円

※金額はすべて1万円未満の金額を切り捨てています

請願・陳情

【請願陳情第9号】
＊件名：「農協改革・指定生乳生産者団体制度維持に関する請願」
＊要旨：農協改革は農協が取り組む自己改革を尊重するとともに、指定生乳生産者団体制度の改革は需給調整機能が確保されるよう進めてほしい
＊陳情者：新岩手農業協同組合　代表理事組合長　久保憲雄
＊紹介議員：上山勝志、大村　税

採択 → 意見書提出
衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、農林水産大臣

全会一致

【請願陳情第10号】
＊件名：「町道の整備についての請願」
＊要旨：安全確保のため町道小軽米七ツ役線の道路改良工事を早期に実施してほしい
＊請願者：松田　廣（松ノ脇）
＊紹介議員：上山勝志、田村せつ

採択

全会一致

特別委員会

審議の経過

※特別委員会の質疑を報告

付託議案すべてを可に

12月6日招集の本会議で提案された議案11件の審査のため、平成28年度軽米町一般会計補正予算等審査特別委員会（大村税委員長）を設置し審査を行いました。12月12日の同委員会での質問と町当局の答弁内容について、概要をお知らせします。

自然のめぐみ基金条例、協定書等へ質疑

【問】発電事業が途中で中止となることも想定されないか。

（再生可能エネルギー推進室長）再エネ事業の特別目的会社が事業主体なので、事業中止のリスクは少ないと考える。

【問】第三者に事業譲渡された場合も寄付は継続されるのか。

（総務課長）協定書には、第三者に事業譲渡する場合、寄付も継承される旨記述されている。

【問】「寄付」という表現で履行義務等が担保されるか。

（副町長）期間や額を明記した協定書により、十分履行頂けると考える。

【問】各事業者の寄付金額の算定根拠は。

（再生可能エネルギー推進室長）概ね経常収益の1％ぐらいを基に、事業者と協議し決定する。

【問】晴山地区の鶏糞バイオマス発電も同基金による寄付がされるのか。

（再生可能エネルギー推進室長）地域貢献には売電収入の一部を寄付いただくほか、農林業生産設備を整備いただくケースもある。バイオマス発電では鶏舎整備による雇用創出が行われている。

子育てガイドを作成

【問】子育てガイドブック作成の担当部署は。

（総務課長）子育ての施策関係課が多いので、総務課が窓口になって作成する。

図書館ひろばで行われている絵本の読み聞かせ

地域おこし隊2名予定

【問】地域おこし協力隊（※）を導入するのか。

（総務課長）平成29年度からの導入に向け採用選考に要する経費を計上した。採用は2名を予定。

（※）**地域おこし協力隊** 主に都市部から地方へ移り住み、地域おこし活動をしながら定住を図る取り組み。募集経費や活動経費を国が支援する。受入人数に制限はなく、年々全国で導入が増えている。

B&G外灯を修繕

【問】B&Gプール周辺の外灯修繕は、通学路として増強しては。

（教育次長）今回は強風による損傷分について、早急に復旧し通学路の安全を図りたい。

B＆Gプール（写真左）敷地内の外灯を修繕

【12月定例会】

平成28年度軽米町一般会計補正予算等審査特別委員会 委員長報告

大村　税 特別委員長

6号議案に一部反対も、全議案を可に

議案第6号（自然のめぐみ基金条例）では、同条例は農山漁村再生可能エネルギー法に基づき発電事業者からの寄付金を農林業の振興施策等に充当するとの当局の説明に対して、同条例に基づく協定には法的拘束力はあるか。寄付金額の算出根拠を明確にすべき。安定した収入が担保されるのか。などの意見が出され、終始活発な議論が展開された。

議案第7号（一般会計補正予算）では、子育てガイドブックの作成、地域おこし協力隊の導入、臨時福祉給付金などで質疑がなされた。

一部反対のあった議案第6号は賛成多数で、他の議案10件は全会一致ですべて可と決した。

討論と採決結果

※本会議場の討論で、反対意見のあった「**議案第６号　軽米町自然のめぐみ基金条例**」について掲載します

反　対

古舘機智男

基金財源は拠出金にすべき

基金の使途は町の健全な農林業の発展に資するべきだが、その財源は発電事業による経常収益の１％程度とわずかで、拠出金ではなく寄付金として事業者の判断に委ねられるなど、発電事業者の利益が優先されている。地権者の権利と収入を保証し、町の自然を安売りせず、未来に希望の持てる安定した基金制度にすべきである。

賛　成

上山　勝志

町の農林業発展に寄与

再生可能エネルギー事業者からの寄付金は地域貢献の一つであり、寄付に当たっては法律関係を明確にするため事業者と協定が締結される。協定は法的にも一般的に履行強制力があるとされ、仮に第三者に事業が譲渡されても本協定は継承される。基金の設置により基幹産業である農林業の発展に大きく寄与するものである。

賛　成

中村 正志

企業版ふるさと納税に期待

自然のめぐみ基金条例は、法律及び町の計画により当然制定されるべき必要かつ緊急な条例である。基金は、発電事業者への過度の負担にならない内容で、当然、誠意をもって履行されるものと確信する。発電事業者の益々の発展を願い、今後、企業版ふるさと納税認定事業の実施につながるものと大いに期待できるものである。

本会議での表決（賛成：○、反対：×）

議案名（○数字は議案番号） ＼ 議員名	中里 宣博	中村 正志	田村 せつ	川原木芳蔵	上山 勝志	舘坂 久人	茶屋 隆	大村 税	松浦 満雄	本田 秀一	細谷地多門	古舘機智男	山本 幸男	賛成	反対	結果	採決日
諮問①人権擁護委員の推薦（村上重雄氏）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	0	適任	12月6日
①町職員の介護休暇取得を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	0	可決	12月15日
②町職員の育児休業取得を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	0	可決	
③特別職の期末手当を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	0	可決	
④議会議員の期末手当を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	0	可決	
⑤一般職の給料表、勤勉手当等を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	0	可決	
⑥軽米町自然のめぐみ基金条例を制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	12	1	可決	
⑦28年度一般会計補正予算（５号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	0	可決	
⑧28年度国民健康保険特別会計補正予算（２号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	0	可決	
⑨28年度後期高齢者医療特別会計補正予算（１号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	0	可決	
⑩28年度介護保険特別会計補正予算（３号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	0	可決	
⑪28年度下水道事業特別会計補正予算（１号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	0	可決	
請願陳情⑨農協改革・指定生乳生産者団体制度維持に関する請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	0	採択	
請願陳情⑩町道の整備についての請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	0	採択	
発議①農協改革・指定生乳生産者団体制度維持に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	0	可決	

地域活動の活性化

問 中核となる体制整備を

町長 地域リーダーの育成と自治公民館活動を支援

旧山内小学校跡地に建設が進む（仮称）山内地区センターは地域活動の拠点施設として期待されます

【問】学校統合後、地域活動の中核となる組織体制整備に、行政指導が必要ではないか。

【町長】地域活動の活性化に向けたリーダーの育成、自治公民館活動支援を行いたい。

【問】地域活動には拠点施設が重要。老朽化した農構センター等の更新の考え方は。

【町長】地域の意見を伺いながら、計画的に改修・整備を進めたい。

【問】地域活動の枠組みはどの程度（行政区ごと、旧町村単位など）を想定しているか。

【町長】住民生活は行政区単位で、体育行事等は旧学区単位など実情に合わせ行われている。今後も活動目的に応じた多様な地域づくりを進めたい。

【問】地域活動に必須な事務局・人的体制の町の考え方は。

【町長】現在も区長や町内会長などを中心に生涯学習推進員や地区担当員と連携されている。今後も引き続き支援したい。

【問】町民体育祭の参加団体の減少や単位設定の課題解決策は。

【町長】次年度に向け種目や団体のあり方など検討し、参加が増えるよう改善したい。

体育施設の管理

問 施設管理委託の考えは

町長 将来的に検討したい

【問】体育施設の管理、学校開放施設の現状は。

【教育長】町施設は教育委員会で管理員等を雇用し管理している。学校施設は学校活動に支障ない範囲で地域に開放している。

【問】体育施設の管理委託の考えは。

【教育長】将来的に体育団体への委託を検討すべきと考える。

【問】管理委託を想定した体育団体に対する育成指導の考えは。

【教育長】委託できる団体へと成長を期待。

【問】老朽施設改修計画の検討経過は。

【教育長】町体育協会や各競技団体、百人委員会からの改善要望を、新年度予算で検討したい。なお財政事情、緊急性を考慮しながら実施していきたい。

第13回定例会（12月定例会）の一般質問は、12月8日に3人が、9日に2人が行い、町当局に対し10項目について質問を行いました。各議員の質問要旨と町当局の回答・姿勢について紹介します。

一般質問とは
- 定例会に限り、町政全般に関して質問できます
- 質問項目はあらかじめ事前の通告が必要です
- 質問者の順番は通告した順番で行われます
- 同一項目についての再質問は2回までできます
- 時間の制限はありません

質問議員	質問事項
中村正志（9ページ）	小中学校統合後における地域（地区）組織のあり方、及び拠点施設の方向性について
	体育施設の管理及び改修計画、併せて団体育成指導について
田村せつ（10ページ）	農村環境改善センターの女性トイレの改修について
	かるまい交流駅（仮称）について
茶屋　隆（11ページ）	ごみ収集について
	株式会社軽米町産業開発について
川原木芳蔵（12ページ）	中山間地畑作振興について
	道の駅について
古舘機智男（13ページ）	ごみ減量化と二戸地区広域行政事務組合の焼却施設について
	メガソーラーとまちづくりについて

※掲載されている質問要旨や回答内容は要約していますのでご了承ください。
※質問・回答の全文は、会議録にて、議会事務局又は町ホームページでご覧いただけます。

ごみ収集

問 祝日の翌日収集できないか

町長 月曜が祝日の場合、可燃ごみは収集
その他の翌日収集は現体制では困難

【質問】分別収集する生ごみの現在の処理方法を伺う。

【町民生活課長】排出ごみの約8割が可燃ごみで、中でも生ごみの重量割合が高いことから、生ごみの減量化に向け現在、可燃ごみと同日に分別収集している。昨年7月までは長倉地区の軽米コンポストで、8月からは増子内地区の農場で豚糞に混ぜ堆肥化している。

【質問】消滅型方式へ見直す考えはないか。

【町民生活課長】可能かどうか検討したい。

【質問】収集日が祝日の場合、翌日にずらして収集できないか。

【町民生活課長】月曜が祝日の場合、二戸地区クリーンセンターが稼働していることから可燃ごみは収集している。ご指摘のように翌日に収集した場合は2日分の量となり、現在の町の収集体制では困難であり、ご理解いただきたい。

【質問】収集コースの見直しはしているか。

【町民生活課長】しばらく同じコースなので見直しを検討したい。

資源ごみなどの収集方法・コースの工夫が必要です

第三セクター・㈱軽米町産業開発

問 産業振興にどう携わる

町長 販路開拓と6次産業化窓口に

【質問】同社の28年度の経営状況は。

【町長】上半期の総売上高は前年度比7百万円増、経常損益は同320万円増である。

【質問】同社は町の産業振興にどう携わっていくか。

【町長】かるまいシリアルや、かるまいブランド認証商品を生かした販路開拓と、エゴマなどの6次産業化を進めたい。

【質問】地方創生加速化交付金で取り組む、同社独自のホームページの構築と販売促進の取り組み状況は。

【町長】町内商店等が個別に取引する窓口を一本化（ワンストップ化）し、見やすく購入しやすいホームページ環境を現在整備している。イベントや観光施設も紹介していく。

【質問】ふるさと納税お礼品と町ホームページの見直し状況は。

【町長】ふるさと納税部分を見やすく改良し、昨年度を上回る実績となっている。今後は専用ポータルサイトの利用により更に拡充を図る。なお町ホームページの全面改修は28年度末を予定する。

町農村環境改善センター

問 和式から洋式トイレに改修を

町長 計画的に整備していきたい

【問】町農村環境改善センターは、生涯学習フェスティバルなど町民が使用することが多い施設である。トイレを使いやすい洋式便座へ改修してはどうか。

【町長】同センターのトイレは多機能トイレを除き和式となっている。生活様式の変化に伴い洋式便座を望む声は十分理解し、同センターや役場庁舎トイレの洋式便座への改修は必要と考える。しかしながら、改修費用は多額となることから計画的に整備していきたい。

町農村環境改善センターは、会議やイベントなどで多くの人が一度に使う機会が多い施設

交流駅構想

問 広いバス待合室と傾聴コーナー設置を

町長 検討委員会に諮り総合的視点で検討

【問】かるまい交流駅（仮称）は町中心部に整備が予定され、町民の期待は大きい。バス待合室は広くて談話できるスペースを確保し、傾聴ボランティア（※）の専用スペースも設けてはどうか。

【町長】交流駅（仮称）の基本的構想は、バスターミナル機能に図書館・公民館機能を備え、中心商店街と連携しながら町の活性化を図ろうとするものである。ご提案の件も含め町民からの要望は、建設検討委員会に諮り、町の将来など総合的視点から検討し、決定していきたい。

改修され車いすでも利用できる軽米中央公民館の多目的トイレ

（※）**傾聴ボランティア**
悩みや寂しさを抱える人の話を真摯に聴くことで、相手の心のケアをする活動。特別な資格は必要とせず、問題解決のアドバイスなどはしない。町内では市日などに町物産交流館で行われている。

古舘機智男

ごみ減量化

問 ごみ減量化への取り組みは

町長 生ごみは分別を継続し、処理方法も検討
廃プラ回収は、中間処理費が多額で困難

【質問】ごみ減量に向けた生ごみ分別収集の現状と問題点、今後の取り組みは。

【町民生活課長】生ごみ分別は平成23年度から試験的に始め、25年度からは町全域で実施。現在は豚養と一緒に堆肥化している。電動式処理機やコンポストの購入など自家処理にも助成し、可燃ごみの減量化とリサイクル等に取り組んでいる。今後も3R（※）の取り組みを進め、町直営での生ごみ処理の可能性も検討したい。

【質問】廃プラスチック分別収集を町独自で取り組まないか。

【町民生活課長】収集後の選別、圧縮梱包などの中間処理費用が多額となり、現状では困難と考えている。

【質問】軽米町がごみ減量化を率先し、二戸広域管内をリードしていく考えはないか。

【町民生活課長】二戸広域全体の課題として情報交換しながら、ごみ減量化と経費節減を提言していきたい。

（※）3R（スリーアール）
…Reduce（リデュース；廃棄物の発生抑制）、Reuse（リユース；再使用）、Recycle（リサイクル；再資源化）の頭文字からなり、ごみを限りなく少なくし、焼却や埋立による環境への影響を減らし循環型社会をめざす取り組み。

町民対象の講演会等を開催しごみ減量化に取り組んできました（写真は、平成24年2月開催の徳島県上勝町の事例講演会）

再生可能エネルギーの推進

問 事業者倒産の保障は

町長 特別目的会社が事業を継続

【質問】メガソーラー事業は、総合発展計画で定める町の将来像や基本理念との整合性はとれているか。

【町長】町総合発展計画では将来に向けた10の取り組みとして「低炭素社会」と「バイオマスタウン構想」を掲げている。現在進める再生可能エネルギーの推進は、農林業をはじめ町の活性化につながるもので、可能な限り自然環境保全、防災対策を行うなど総合計画に配慮している。

【質問】発電事業者が倒産した場合の保障について明確にすべき。

【町長】太陽光発電事業は20年もの長期に渡るため、特別目的会社を設立し、仮に現事業者が事業を中止しても発電事業は継続される仕組みにある。なお事業期間終了後の山林等の原状回復費用は、売電収入から積み立てられるが、確実かつ速やかに実行されるよう町としてしっかり管理していきたい。

川原木芳蔵

中山間地の畑作振興

問 畑作振興に基盤整備が必要

町長 県の基盤整備事業の活用検討を

【質問】ソバ、エゴマなど中山間地の畑作振興には農地の集約化、作業道の整備などの基盤整備が必要と考えるが、町の考えを伺う。

【町長】岩手県では平成27年10月から、簡易な基盤整備を行う「活力ある中山間地域基盤整備事業」を実施している。区画の拡大事業や末端畑地灌がい施設の整備などを補助対象とし、30年度までの事業実施期間である。本事業の活用を検討いただきたい。

【質問】人口減少に加え農業者が減る中、若い農業者を支援する取り組みをスピード感を持って取り組むことを望む。

エゴマの需要は全国的に高まり町内の生産量も増えてきています
（写真は、首都圏交流ツアー参加者によるエゴマの収穫体験）

道の駅

問 インターチェンジIC周辺に整備しては

町長 場所、体制等を調査研究

【質問】町内へ「道の駅」を整備する考えはないか。整備する場合、町の玄関と言える八戸自動車道軽米インターチェンジ周辺がふさわしいのでは。

【町長】道の駅は、28年10月7日現在で全国に1107箇所登録されている。その多くは地域の文化、名所、特産品などの直売所やレストランを整備し、観光地化するなど地域の活性化には有効な施設と考える。概ね10キロメートル間隔で設置されており、当町でも1施設の設置が可能と思われることから、設置場所や施設内容、運営体制など十分に調査研究していきたい。

八戸自動車道九戸インターチェンジ近くに整備されている「道の駅おりつめ」の特産品販売施設「オドデ館」（九戸村）

第12回臨時会

（平成28年11月7日開催）

損害賠償を決定

損害賠償2件の額の決定と和解について、原案のとおり可決。

【議案①】
・内容　水防活動中の自家用車の損害賠償
・金額19万3179円

【議案②】
・内容　公用車による物損事故の損害賠償
・金額　4万6731円

工事変更契約を可決

デジタル防災行政無線整備2期工事請負契約の変更について、原案のとおり可決。

【議案③】
・変更内容　屋外拡声子局1基を再送信子局に変更するもの
・契約金額　1億6655万6520円（455万6520円の増額）

台風10号の復旧費6億7千万円補正

【議案④】主に台風10号被害の復旧事業等について一般会計を補正しました。詳細は、左表のとおり。

〔すべての議案に全員が賛成〕

平成28年度一般会計予算の増額補正

総額73億5772万円に

（11月7日現在）

会計別	予算額	
	今回補正額	予算総額
一般会計	6億6952万円	73億5772万円

❀❀❀ 主な補正予算の内容 ❀❀❀

一般会計補正予算（第4号）

【歳入】
・公共土木施設災害復旧費負担金
（国庫負担金3億3195万円）
・被災者生活再建支援金支給補助金（県補助金80万円）
・農林業用施設災害復旧費補助金
（県補助金1億3601万円）
・農林業、公共土木災害復旧事業債（町債1億6450万円）

【歳出】
・農地・農業用施設、林道災害復旧工事
（農林水産業施設災害復旧費1億9009万円）
・公共土木災害復旧工事、修繕料
（公共土木施設災害復旧費4億8201万円）

※金額はすべて1万円未満の金額を切り捨てています

議会のはてな？ しくみを教えて！ No.9

会議公開と会議録

本会議は原則公開

議会の本会議の議事は原則、公開されなければなりません。会議当日に議場を傍聴できるほか、かるまいテレビでの放映、後日作成される会議録でその内容を知ることができます。会議録は、議会事務局で閲覧できるほか、町ホームページでも公開しています。

委員会も傍聴可能

特別委員会や各常任委員会などはこの会議公開の原則には含まれませんが、会議のつど傍聴の希望があれば、委員長の判断で傍聴を許可することができます。また定例会、臨時会ごとに設置される各特別委員会の会議録も町ホームページに公開しています。

非公開や削除も

非公開で行われる秘密会（出席議員の3分2の賛成で決定）の議事は、会議録には掲載されません。秘密会に限らず、発言の取り消しや訂正された部分は削除・修正されます。

全文を掲載

本会議と特別委員会の会議録の調製は原則、録音機器を基に全文を掲載します。本会議の会議録には、定例会又は臨時会ごとに指名される会議録署名議員が内容を確認し、署名します。会議録の完成までは、通常、会議終了後、2か月程度となります。

町議会の動き

（平成28年10月～12月の主要な行事）

月	日	曜	行　事
10月	9	日	町民体育祭・町民健康まつり
	12	水	岩手情報文化研究会（盛岡市）
	13	木	議会報編集委員会⑪
	14	金	カシオペア連邦議会議員協議会活動推進交流会（一戸町）
	16	日	食フェスタ in かるまい 2016、町民フォーラム
	19	水	議会報編集委員会⑫
	21	金	岩手県町村議会議長会 議員シンポジウム（盛岡市）
	23	日	町民文化祭開幕式典
	25	火	全国町村議会広報研修会（東京都） 岩手県町村議会議長会政務調査会視察研修（北海道、～27日）
	26	水	議会だより第207号発行
	28	金	二戸地区広域行政事務組合議会定例会（二戸市）
	31	月	議会運営委員会⑧
11月	7	月	第12回軽米町議会臨時会 平成28年度軽米町一般会計補正予算等審査特別委員会 議会運営委員会⑨
	8	火	岩手県町村議会議長会政務調査会、県選出国会議員との懇談会（東京都）
	9	水	岩手県町村議会議長会政務調査会研修会、町村議会議長全国大会（東京都）
	10	木	北部地区町村議会議長会行政視察研修（沖縄県、～11日）
	17	木	岩手県町村議会議長会広報担当者研修会（花巻市、～18日）
	24	木	二戸地区広域行政事務組合行政視察研修（宮城県、～25日）
	28	月	カシオペア連邦議会議員協議会役員会（二戸市）
	29	火	議会運営委員会⑩
12月	6	火	第13回軽米町議会定例会・本会議（会期；～15日） 議会報編集委員会⑬
	8	木	定例会一般質問、議員全員協議会④、議会報編集委員会⑭
	9	金	定例会一般質問、産業建設常任委員会②
	10	土	在京軽米会総会（東京都）
	12	月	平成28年度軽米町一般会計補正予算等審査特別委員会 議会運営委員会⑪
	15	木	第13回軽米町議会定例会・最終本会議 議員全員協議会⑤、議会報編集委員会⑮
	16	金	岩手情報文化研究会（盛岡市）
	17	土	工藤敏直氏瑞宝単光章受章記念祝賀会

議長交際費

❀お祝い等（会費含む）

10月1件　3,000円
11月0件　0円
12月4件　20,000円

※議長交際費は議長が町議会を代表して対外的な行事等へ参加する際の経費で、主に各団体の総会等の会費です。詳しくは町ホームページをご覧ください。

商品開発の実践例に学ぶ

カシオペア連邦議会議員協議会

二戸管内4市町村の議員で組織するカシオペア連邦議会議員協議会の研修会が10月14日に一戸町で開催され、12名が参加しました。「小さな商品開発」と題して商品開発コーディネーターの五日市知香さんが実例を交えて講演。消費者目線を忘れない、ターゲットや市場調査等の重要性など、特産品開発へのヒントを学びました。

本田秀一議員が事例発表

岩手県町村議会議長会　議員シンポジウム

県内町村議会が一堂に集まっての議員シンポジウム（岩手県町村議会議長会主催）が10月21日に盛岡市で開催されました。県内4地区の事例発表では、県北地区を代表して本田秀一議員（写真左）が、議員報酬と議員定数について本町の事例を発表。他にも魅力ある議会、議員の成り手問題、議会広報などについて意見交換しました。

広報紙のイロハを全国に学ぶ

全国町村議会広報研修会

議会広報紙の編集や記事作成について学ぶ全国研修会（10月25日、東京都）に、議会報編集委員2名が参加しました。「分かりやすく伝えるには」「読みやすい紙面とは」など3人の講師が講演。全国コンクール入賞紙を題材に参考となるポイント、テクニックなどのイロハを解説しました。今後の議会だよりの編集に生かされます。

かるまい町に住んでみて

町民インタビュー Vol.⑥

＊背景写真は、かるまい冬灯りのライトアップ風景（向川原、平成28年12月撮影）

山仁(やまに) 江利子(えりこ) さん

山形県酒田市出身　35歳（高清水）
夫・長男・次男の４人家族

温かい印象

☜軽米町に来るきっかけとそのときの思い出は？

日本海に面した「山居倉庫」で知られる山形県酒田市の出身です。結婚を機に軽米町に初めて来て９年になります。どんなところか不安でしたが、自然や緑も豊かで、隣近所の方々も優しく温かい人が多いなあという印象でした。

多い地域イベント

☜住んでみての感想は？

食フェスタなど町内での催しものが多く、特に地域の繋がりが感じられるイベントなどあって良いなあと感じます。でも、なかなか行く機会がもてないのが残念です。

学校生活に関心

☜今関心があることは？

今は、子どもたちのことが一番ですね。長男が小学校に入り私自身ＰＴＡや育成会行事などが増えましたが、顔見知りも増えて楽しいです。放課後は児童クラブを利用しているんですが、タクシー送迎もあって便利だなと感じています。

交通機関も便利に

☜どんな町になってほしいですか？

子どもたちが伸び伸びと遊べる遊具のある公園なんか良いですよね。徒歩通学しているので、安全な歩道や街灯もたくさんあると明るくて安心できますね。バスなど交通の利便性も良くなると、子どもたちも高齢者にとってももっと住みやすくなると思います。

募集しています

このコーナーの出演者を募集しています。主に町外から軽米町に来られた方で、町への提言、思いなどをお寄せください。自薦・他薦は問いません。
議会事務局又はお近くの町議会議員までお問い合わせください。

かるまい議会だより

発行日　平成29年1月25日発行（No.208）
発　行　軽米町議会
編　集　議会報編集委員会
〒028-6302　岩手県九戸郡軽米町大字軽米10-85
TEL 0195(46)2111 ／ FAX 0195(46)2335
ＵＲＬ　http://www.town.karumai.iwate.jp/

議会報編集委員会
委員長　隆
委員長　茶屋　正志
副委員長　中村　幸男
委員　山本　満雄
〃　松浦　勝志
〃　上山　せつ
〃　田村